

甲賀市・湖南市地域の医療と歴史・文化を学ぶ宿泊研修を実施しました。

3月17日（火）に、甲賀市・湖南市地域を訪問させていただいた春の宿泊研修は日帰りで実施し、学生18名（滋賀医科大学医学科第1～3学年12名、看護学科第3学年2名、滋賀県立大学1～3年生4名）が参加しました。

【行程】

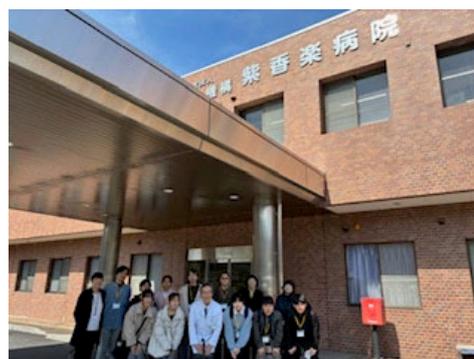
学生は紫香楽病院と信楽中央病院に分かれて研修を行いました。

・紫香楽病院にて研修

紫香楽病院には医学科6名、看護学科4名の学生が訪問しました。

真田院長から紫香楽病院の歴史を含む概要をご説明いただきました。真田先生ご自身が衝撃を受けられた重症心身障害児（者）医療について、医療関係者となる学生には一度は必ずその様子を見学してほしいとお話いただき、病棟の看護師長さんからは、病棟での看護の様子をお話いただきました。

その後、病院内を見学させていただき、病棟や外来だけでなく、療育指導室のスヌーズレンなどを体験させていただきました。



- 信楽中央病院にて研修

信楽中央病院には医学科 6 名、看護学科 2 名の学生が訪問しました。

北川院長から信楽地域の歴史を含めご紹介いただき、病院の概要について説明を受けました。その後、朝宮診療所へご案内いただき、朝宮診療所の在り方についてご説明いただきました。

また、最後に朝宮地域で有名な朝宮茶を造られている藤田園にて朝宮茶の説明を社長からご説明いただき、珍しい啜り茶器でお茶を淹れていただきました。



- 地域散策

今回は信楽で有名な信楽焼の絵付け体験を行いました。皆さん、それぞれが真剣に絵付けされていたのが印象的でした。2~3 ヶ月後に焼きあがってくるのが楽しみです。



続いて、遙か 1200 年以上前の奈良時代中ごろ、聖武天皇が首都である紫香樂宮造営した「紫香樂宮」の跡地（史跡紫香樂宮跡）を見学しました。



・水口病院にて研修

午後から湖東、湖南・甲賀地域の精神科医療を担う精神科（単科）の病院である水口病院を訪問させていただきました。與那城看護部長から水口病院の概要についてご説明をいただき、年々患者が増加しているが、医師や看護師だけでなく多職種のチーム医療で立ち向い、急性期病院とは違った自立性の支援・回復を促す医療の提供をおこなっていると話しいただきました。

その後、病院見学を行っていただきました。最後に青木院長からご挨拶があり、学生からの質問にも丁寧に答えていただき、経営の哲学についてもお話しいただきました。また、「精神疾患に対して消えることのない偏見についても「偏見に対しては毅然とした態度が必要であり、精神疾患を知ってください」と、学生へメッセージをいただきました。





・こうせい駅前診療所にて研修

研修の最後は、こうせい駅前診療所に訪問させていただきました。

まず初めに、しが医療生協理事・湖南甲賀支部長の立入様より「健康づくりをつくる・平和をつくる・いのち輝く社会をつくる」の取り組みについてお話いただきました。医療生協の取り組みについて理解してもらいたい、行政と一緒にやっていくことが大事と学生へ伝えていただきました。続いて、佐々木所長から施設の概要についてご説明をいただき、気候変動が今後どのように命に直結するのか講義いただきました。最後に診療所内を見学させていただいて、研修が終了しました。



今回も、地域の方々をはじめ、多くの医療関係者の方々にご協力いただき、地域医療について学びの多い研修となりました。この場をお借りして、ご協力頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。

豊かな自然に恵まれ、甲賀市・湖南市の方々の暖かな人柄に触れ、今回の研修を通じて、地域医療に従事する学生が一人でも多く活躍してくれることを切に期待しています。

(この研修は、NPO法人滋賀医療人育成協力機構及び滋賀県医師キャリアサポートセンターとの協同で実施しました。)